

精華町教育委員会会議録

平成25年（第5回）

- 1 開 会 平成25年5月22日(水) 午前10時00分
閉 会 平成25年5月22日(水) 午後 0時08分

- 2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 蓑毛委員 細川委員
太田教育長 (欠席委員なし)

3 出席事務局職員

木原教育部長 竹島学校教育課長
村川生涯学習課長 永井総括指導主事
土井学校教育課主幹

- 4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

委員長から第5回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前々回会議録について

教育部長から平成25年第3回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

- ・特になし。

【採 決】

- ・全員承認。

(3) 教育長報告事項

ア 修学旅行について

従来、中学校の修学旅行は東京方面ということになっていたが、精華中学校が初めて航空機を使って沖縄へ5月16日から18日までの2泊3日で行った。梅雨入りしたため天候を心配していたが、屋外での活動のときは晴れていたとのこと。校長からは、「ガマ」という集団でたく

さんの方が亡くなった場所で、現地の人たちからいろいろと話を聞く時には、雨が降っていたが生徒達は、一生懸命聞いていたことから、現地の人も生徒の真剣な態度に感銘を受けて、普段は入れないガマの中まで案内してもらったという経験や、その日は民泊で、まちづくりを進めていることもあり、受け入れ体制が整備されており、数名に分かれて各家に泊まるという貴重な体験をしたなど、非常に良い修学旅行になったという感想も出されている。いずれ生徒の作文などが手に入ると思うが紹介させていただいた。修学旅行もほとんどで終わっているが、精華南中学校が昨日帰ってきて、あと、川西小学校が明日、明後日で伊勢志摩へ行く日程になっている。

イ 町議会議員選挙について

町議会議員選挙が5月12日に行われた。

選挙結果は、投票率が54.73%で、前回の61.82から、7.09ポイント下がった。

選挙開票の結果は配布資料に記載のとおりで、18人が当選、現職議員2人と新たに出られた方の3人が落選された。政党別では、共産党4名、公明党2名、民主党1名、日本維新の会が1名、そしてあとは無所属ということになっている。

選挙戦の中で各候補が、いろいろな公約を掲げており、教育関係の分を抜粋した一覧表である。網かけの部分は、クーラー関係で、前回から持ち越している課題。太字で書いてある部分が中学校の給食関係である。中学校給食についてはたくさんの候補者が取り上げられている。内容はそれぞれ違っているが、早期実現を図りたいということでは皆さんの気持ちは一致しているように思う。なお、はっきり自校調理、直営でという公約を掲げられたのは、共産党4名である。クーラーの問題についても、愛精会3人全員が出されており、それ以外にも精政会の2名も出しておられるという状況になっている。

この後、詳しい説明があるが、23日に臨時議会が開かれ、議長、副議長、各委員会、委員会の構成メンバー、委員長、副委員長の選出が行われることになる。

6月7日から議会が開催の予定と聞いており、これだけたくさんの教育問題があるので、給食問題を中心にいろいろと質問が出ると思ってい

る。

【委員の意見等】

- ・精華中学校の沖縄の件で、他の2中学校の反応は。（伊藤委員長）
- ・近隣で航空機を使っているところはあるのか。（伊藤委員長）
- ・修学旅行の費用の上限はあるのか。（伊藤委員長）
- ・3中学校が沖縄に行くことは可能か。（伊藤委員長）
- ・平和祭典で精華中学校の生徒が沖縄での学習の体験報告をできないか。（伊藤委員長）
- ・身体障害の生徒はいなかったのか。（伊藤委員長）
- ・町議会議員の選挙の関係で「早期に給食を」と書かれているが、実施時期を早める必要があるのか。児童生徒へのアンケート結果では、給食を望む割合が高くなかったので、方針どおりで良いと思う。（伊藤委員長）
- ・デリバリーが全員利用するのならいいが、弁当との選択になれば利用に抵抗感があると思う。中学生にとっては、デリバリーも斡旋弁当も同じ心理状態が働くと思う。（伊藤委員長）
- ・財政状況を考えて実行に移すことが必要。（伊藤委員長）
- ・一番気になるのは子供が給食をそれほど望んでいないのはなぜかということ。小学生は中学校になれば弁当を持っていくのを楽しみにしているのだと思う。これから給食をするのなら楽しみを持てる給食にしないといけない。（細川委員）
- ・小学生児童が中学校での弁当を楽しみにしているが、給食の満足度はどうなのか。（蓑毛委員）

【事務局】

- ・沖縄への修学旅行は、山城地方では、南城陽中学校が行っている。過去には東宇治中学校が行っていたが生徒が増えたために取り止められたと聞いている。その他、八幡市の2つの中学校が飛行機を使って北海道へ行っている。（教育長）
- ・費用は約6万円。その内町からの補助金が2万円となっている。

(教育部長)

・3中学校が沖縄に行くことも可能と考える。5千円程度費用が上がると思う。(教育部長)

・8月の平和祭典で精華中学校の修学旅行の作文などを掲示できないか事務局から話があり、学校と協議している。(教育部長)

・修学旅行では、ガマの体験の他、マリンスポーツや文化体験もしているので平和祭典の目的にあった体験報告がどの程度できるかわからない。(教育部長)

・精華中学校に身体障害者の生徒は今年はいなかった。来年は気圧の変化で脳が腫れる病気の生徒が一人おり、学校は、その生徒だけ飛行機を使わず船で行くなど保護者と相談していると聞いている。

(教育部長)

・給食の早期実施については町の財政状況や敷地確保から難しい。

(教育部長)

・基本的事項に示している方針は変えないが、京田辺市でデリバリー弁当注文方式という昼食の案が出ている。精華町では、給食を開始できるまでパン販売なども含めて、補完策を考えたいと思っている。(教育部長)

・懇談会でも出ていたが、中学生の食育は大事なので、中学校での食育の取組を充実させるような給食をしていくこともテーマとしたい。(教育長)

(4) 議決事項

ア 第14号議案、平成25年6月精華町議会定例会提出議案に係る意見聴取について

【提案説明】 (教育部長)

平成25年6月精華町議会定例会提出議案について、精華町長より地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、精華町教育委員会の意見を聴取されているため、提案。

【提案概要】

平成24年度精華町一般会計補正予算(第9号)の内容は、専決補正で、平成24年度事業が執行済みのため決算見込み等が出ているこ

とから、専決補正をするもの。

教育費総計は5,895万6,000円の減額。内訳は、学校教育課の総額が3,107万9,000円の減額、生涯学習課総額が2,787万7,000円の減額。

概要を予算書及び附属資料に基づいて説明。

【委員の意見】

- ・減額の理由は。（伊藤委員長）

【事務局】

- ・ほとんどが事業完了及び入札等により安価になったための減額。

文化財の関係で、開発工事に伴う調査のための予算を計上したが該当する開発工事がなかったための減額。

まなび体験教室で山田荘小学校が未実施のための減額。実施予定だったが、コーディネーターが見つからず体制がとれなかったため実施できなかった。

25年度については、精華台、東光、山田荘のコーディネーター、ボランティアの募集を再度行っている。1学期間は無理だが2学期から開始する状況である。（教育部長）

【採決】

全員挙手により原案どおり決定

- イ 第15号議案、平成25年6月精華町議会定例会提出議案に係る意見聴取について

【提案説明】（教育部長）

平成25年6月精華町議会定例会提出議案について、精華町長より地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、精華町教育委員会の意見を聴取されているため、提案。

【提案概要】

平成25年度精華町一般会計補正予算（第2号）の内容は、教育費総計は366万6,000円の増額補正。

一つは緊急雇用対策事業を活用した食育推進事業。補正額239万

4,000円。小学校、中学校の課題である食育の啓発の関係で、小学校は、現在5校中3校に栄養教諭が配置されており、2校については未配置という状況で、その2校に対して臨時の職員を緊急雇用で、今年度配置する。また、栄養士が5人となることで中学校への食育の啓発についても充実できると考えている。栄養士2人分の賃金を補正。

門脇文庫開設事業は、120万円の補正。元府立大学の学長で、精華町の町史編さんの監修者としてお世話になった門脇先生が5年ほど前に亡くなられ、先生所有の本や資料等を家族の方から精華町へ寄贈された。門脇文庫を設置するために、図書館内に門脇文庫を設置するための経費として120万円の補正。門脇文庫として、コーナーを設置、お披露目を考えている。

土曜日を活用した教育実践事業は、町内8校すべて土曜日を活用した教育実践事業を実施しているが、東光小学校は昨年度から実施しており、今年も大体10回程度実施の予定で、京都府の指定を受けて補助金をもらうということで、7万2,000円の補正。残り7校は、学期に1回程度計画している。

【委員の意見】

- ・緊急雇用は継続されるのか。（伊藤委員長）
- ・必要性があれば来年度以降も配置されるのか。（伊藤委員長）
- ・土曜日活動の金額は府の補助の限度額か。町費で応援はできないのか。（伊藤委員長）
- ・土曜日活用が学校ごとに実施日が決まっていることで、混乱はないか。（中谷委員）
- ・サッカーや野球などで保護者が代表で送迎をするために土曜活用の日に迎えに来ている。事故等が起こった時に保護者間での責任や保証の問題が起こる可能性がある。事故が起こる前に対応する必要がある。（伊藤委員長）

【事務局】

- ・緊急雇用対策の趣旨からとりあえず今年度だけとなる。以前に図

書館司書を雇用したが、同じ方が継続できないなどの制限があった。来年度以降も要求していく。（教育部長）

・東光小学校に町費で別途予算化することは、教育振興費や学校管理費での支出もあるので難しい。（教育部長）

・土曜日活用とクラブの試合の関係では、クラブの試合は広範囲の学校が対象となるので精華町だけで土曜活用の実施日を統一しても対応できない。（教育部長）

【採決】

全員挙手により原案どおり決定

（５）教育部からの報告

ア 教育部長

①精華町議会について

明日２３日に臨時議会が開かれ、議長、副議長、議会の監査委員、常任委員会の構成等が決まる予定。常任委員会については、教育総務、建設産業、民生環境の３つがあり、１人１つに入っていたが、今議会から１人が２つの常任委員会を兼ねることができることとなった。

第２回定例議会の状況だが、この日程も今現在進められており、一般質問の締め切りが５月３０日、６月７日に議会が開会し、翌週の月曜日から一般質問が３日間、１３日以降、議案質疑と常任委員会が開催されるのではないかと考えている。一般質問の内容は、まだわからない状況。案件は１５件が予定されている。専決補正、補正予算の関係で６件、新規条例２件、条例改正が５件、工事契約２件、報告４件で、１５件の議案と報告が４件。

②精華町新型インフルエンザ等対策本部条例について

新型インフルエンザ対策特別措置法を受けて、国から緊急事態宣言された場合、本町として対策本部等を設置していかなければならないということで、必要な事項を定めている。

③精華町犯罪被害者等支援条例について

国の犯罪被害者等基本法を受け、精華町における犯罪被害者等の支援内容を規定している。例えば、生計の主であるご主人が何ら

かの犯罪で亡くなったことによって一家が厳しい状況になると、子どもがいれば、小学校、中学校への就学でいろいろな面で制約されることが予想される。就学支援との関わりが出てくる。

④全庁挙げての重点取組について

健康増進プロジェクトの推進、食育の推進の二つの課題があるが、両方とも今後の重要な取組ということで、学校教育、生涯学習両面にわたり関連してくると考えている。生涯学習は健康増進プロジェクトの事務局にも入っており、食育の推進では学校教育課が構成メンバーに入っている。

⑤平成24年度一般会計最終見通しと基金状況について

現時点における町の24年度一般会計の最終見通しは、歳入が116億1,000万、歳出が115億8,000万で、形式収支では3,000万円。一部23年度からの繰り越しがあったので、実質収支では2,000万円の黒字が見込まれている。23年度は6,000万円の最終赤字であった。現在、各種補助金や交付金、一般財源や基金を充当しながら事業を行っており、引き続き町の財政は厳しい状況である。

基金残高は、23年度末に32億5,000万あったが、24年度執行で5億4,000万を取り崩し、最終的に24年度末では29億9,000万と若干減っている。25年度予算編成において7億3,000万を取り崩しており、25年度間で積み立てがなければ25年度末の基金残高は22億6,000万円となる見込み。

イ 学校教育課長

①施設関係事業の進捗状況について

精華中学校の改築の関係は、24年度に基本設計を策定し、引き続き継続事業として25年度は、工事実施のための実施設計に向けて現在詳細設計を進めている。25年度中に設計し、26年度に工事着手という予定をしている。

精北小学校のプール改修工事は、今年度、プール開始時期までに完成する予定で5月16日に入札したが、入札参加の業者すべて、最低制限価格を下回ったため全社失格となり、業者が決まらないという状況になった。再入札も考えたが、今年度のプール授業に

間に合わないため、また、水質等が水泳の授業に支障はないということなので、現状のままプールを利用し、秋に再度入札を実施、来年度に向けて改修工事をするに変更した。

24年度末の国の補正の関係で予算化した山田荘小学校体育館と精華南中学校体育館の耐震改修工事は、25年度中に完成させるため、どちらも5月8日に設計業務委託契約を締結。山田荘小学校は、6月末を目途に設計を完了する予定。精華南中学校は、7月末を目途に設計を完了し、順次工事に着手する。山田荘小学校体育館の工事は1億弱ということで、議会の承認を得る必要があるため、9月議会に工事案件を提案する予定で進めている。精華南中学校も、できるだけ早い時期に工事着手し、学校行事等も考慮し、2月末頃には完成、卒業式は新しい体育館で実施したいと考えている。

暑さ対策で、昨年度ドライミストを全校の普通教室に設置した。今年度も来月から運用を開始していきたいと考えており、現在、ノズルの点検や水が出る角度の調整をしている。ノズルが詰まっている部分もあり、整備をして来月から運用開始をしていきたいと考えている。

②奈良基地祭に伴う飛行展示について

例年この時期に、奈良基地で基地祭が行われ、今年度は5月25日、土曜日に行われる。毎年飛行展示として、ジェット機、戦闘機が10分程度飛ぶ。事前飛行が明日、明後日に予定されている。精華町上空も飛ぶため、当日も含めて、学校の授業中であり、騒音が懸念されることから学校にも周知する。

ウ 総括指導主事

①土曜活用について

4月25日現在での土曜活用の実施予定は一覧表のとおり。東光小学校は研究指定ということで11回。その他の各校は4回から5回の実施を予定している。土曜活用は、基本的にはその次の月曜日を休みにしないが、一覧表には、次の月曜日に休みをとっている場合も含めている。例えば運動会の後は月曜日を休みにしている。東

光小学校も月曜日の休みの場合も含めて11回行っている。

どの取り組みも、学校でやっていることを地域住民や保護者に知っていただくことによって社会総がかりで子育てをしていこうという目的で行っている。原則として公開授業である。

② 中学卒業生の進路状況について

5月1日現在で確定したので、再度報告。

傾向として、1つ目が全日制の高校への進学率が若干低くなっている。24年度は95.2%、25年度は93.2%。定時制通信制高校への進学率が少し上がっている。24年度はなかったが25年度では0.8%、通信制は24年度は0.8%、25年度は1.2%。通信制も含めた進学率が少し上がっている。24年度は98.0%、25年度98.2%。通信制を除く進学率は、わずかに下がっていて、24年度は97.2%、25年度は97.0%。全日制の私立高校への進学率が若干下がっていて、24年度は31.1%、25年度は30.2%。国公立の全日制高校への進学率も若干低くなっていて、24年度は64.2%、25年度は63.2%。

府内の高校等への進学率が増えている。府内の公立で全日制は少し減ったが、定時制が増えている。府内高校等の進学率は、24年度88.7%、25年度は89.2%。24年度は通信制や定時制に進学した生徒が若干増えているという傾向である。就職者は2人である。

③ 生徒指導の充実について

平成24年度の状況ということで、山城地方全体で見ると、23年度と比較して小学校は総件数、指導人数が増加している。件数では631件が683件、人数は1,228人が1,375人となっている。中学校では、総件数、指導人数とも減少。件数は2,042件が2,002件、人数は3,810人が3,416人となっている。いじめについては小・中学校とも大幅な増加で、これについては、よりきめ細かく見ていったということと、子供たちのアンケートを活用したということも影響していると考えている。小学校で45件が108件、中学校は42件が81件という結果であった。

精華町で見ていくと、小学校では総件数、人数とも、山城地方と同様に増加している。件数は15件が22件、人数は23人が31人になっ

ている。中学校は、総件数、指導人数とも、山城地方と同様に減少している。総件数は100件が75件、人数は178人が118人になっている。いじめについては、小・中学校とも大幅増加ということで、これは山城地方と同じ理由が考えられる。小学校は1件が8件、中学校は0件が6件となっている。

不登校は、山城地方では小・中学校とも増加している。精華町においても小・中学校とも微増となっている。小学校で4人から5人、出現率は0.19%、不登校の中学校は23人が24人、出現率は1.87%になっている。いずれも1人ずつ増えている。

それらを踏まえて、平成25年度の指導課題ということで、7点を上げ、校長会、教頭会などで指導した。①生徒指導の3機能を生かした教育活動の展開及び積極的な生徒指導の推進。②京都府で作成した教職員ハンドブックを活用し、いじめの実態把握と早期発見、早期対応。③校種間連携の充実と組織的・計画的・意図的な指導の推進。④非行防止教室等による児童・生徒の規範意識の醸成。⑤虐待の実態把握と関係機関との連携、学校の役割の明確化。⑥特別支援教育との連携。⑦PTA、地域を巻き込んだ取り組みの推進。この7つである。

④問題事象等について

個々の具体的な事象については、個人情報に関する内容であり、精華町教育委員会会議規則第16条の規定により非公開とすることができるとため会議に諮られ、「異議なし」としてこの件については非公開となった。

エ 生涯学習課長

①精華町拡大あいさつ運動について

今年度も「“あいさつ”をきっかけに心温まる人間関係を！！」という呼びかけで精華町拡大あいさつ運動を実施する。これは精華町PTA連絡協議会が毎年町内の小・中学校での一斉の取り組みとして実施されている統一あいさつ運動と連動して、行政や町内関係団体にまであいさつの輪を広げ取り組むもの。今年度、年間3回、6月、9月、1月に実施する計画をしており、6月は、6月3日、

月曜日から6月5日、水曜日までの3日間実施。小・中学校の校門付近や通学路周辺で実施。行政は、新祝園駅の改札前、庁舎玄関付近と、小・中学校で行われているあいさつ運動を巡回する予定である。

あいさつ運動のチラシを先週金曜日に町内の各戸に回覧で案内している。

【委員の意見】

- ・生徒指導の充実についてで、不登校で、小学校6年生から中学校1年生へ上がるときに不登校が大幅に増加している。小学校6年生の間に中学校と交流したり、中学校の様子を体験したりいろいろな取り組みをされていると思うが、1人から8人となっている。それに対する対策は何か考えているのか。（蓑毛委員）
- ・精華南中学校では資料から3人の不登校が解消されているが、どんな取り組みをしたのか。（蓑毛委員）
- ・対応の先生を変更したのか、それとも学年が上がっても同じ先生が対応されているのか。（蓑毛委員）
- ・不登校はみんな同じで、こうすればこうなるというのならいいが、個々に全然違う。心理状態が。学校でいろいろな嫌なことがあるかない場合や、家庭環境の中で行きたくなかったら行かなくてもいいやという場合、お兄ちゃんも不登校だったので、私も行かないとか。状況がいろいろ違って、一律には対応できない。しかし、子供は常に意識はしている。例えば修学旅行には行きたい、というのがきっかけで来ることもある。また、夏休みでまた来なくなることもある。（伊藤委員長）
- ・3人全員が参加して、今も来ている。今後の対策において何かヒントがあるかもしれない。そういう指針となるものを中学校でまとめてもらうことも必要。（中谷委員）
- ・修学旅行が魅力の一つになっている。（伊藤委員長）
- ・資料から1年生の時は不登校だったが、2年生で来るようになった生徒のきっかけは何かあったのか。（伊藤委員長）
- ・不登校の問題はすごく大事で、その後の高校進学や大学進学、就

職など、大きくなっていった子たちを見ていくと、きちんと学校へ行っていた子は安定した職につく率が高い。何か問題があって学校に行っていなかった子たちは、なし崩しになっていってる子が結構いる。（蓑毛委員）

- ・きめ細かく家庭訪問や連絡をとったりしていることが大きいと思う。（伊藤委員長）

- ・基地祭の事前飛行を休日にするよう言えないのか。授業に支障が出る。（伊藤委員長）

【事務局】

- ・小学校のときから不登校の傾向があるという子については、小学校教諭と中学校教諭がその子について連携し、情報を共有して対応している。生徒指導の連絡会議もあるので、状況について情報交換している。小学校から中学校に上がる時の中1ギャップと言われるものに完全にはまってしまっているということも見え隠れしていると思う。（総括指導主事）

- ・それぞれの学校で体験入学的なことを行ったり、中学校の先生が小学校へ行ったり、授業をしてもらったり、小学校の先生が中学校1年生の子を見に行ったり、指導したりという学校もある。中1ギャップに落ち込まないようにという工夫はしているがこの資料のとおりの件数となっている。（総括指導主事）

- ・精華南中学校で去年全然来ていなかった生徒が、今年の4月から毎日登校している。初めは夕方登校していたが、だんだんとほかの子供たちと同じようになるといふことで、今、通常登校しているということもあった。（総括指導主事）

- ・不登校に対して、いろいろな連絡を担当の先生が持って行ったり、家庭訪問は繰り返し行っていた。不登校のすべての生徒にしている。今回学校へ来るようになった生徒についても繰り返し家庭訪問等行っていたら、突然来たということで、これが本当に取り組みで来たのかということとはわからないと聞いている。（総括指導主事）

- ・精華南中学校は4人不登校になっていて、そのうち3人が来始めていると聞いている。精華南中学校はそういった子供に対して、家

庭との連携は怠らないでやっているのです、そのことはベースにあると思う。（教育長）

・不登校に対しては、継続して対応するものであり、学年が上がって、担任が変わっても継続して対応していくこととしている。（総括指導主事）

・主任児童委員など関係機関との連携も行っている。（教育部長）

・修学旅行は不登校の生徒3人全員が参加した。修学旅行が魅力の一つになっていると考える。（教育部長）

・2年生の生徒は、夜に来た時に教室に自分の机があるのを見て来始めたと聞いている。（総括指導主事）

（6）その他

①4月から5月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数8件、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が8件、うち社会教育係関係が6件、図書係は0件、体育係関係は2件。

（7）教育部からの諸報告

ア 6月の行事予定について。

（8）閉会

委員長が第5回教育委員会の閉会を宣言。